

2025年9月8日

各 位

ギャラリー・ミレー運営委員会
株式会社 北陸銀行

ギャラリー・ミレー企画展「WHY BLUE WHY」の開催について

ギャラリー・ミレー運営委員会は、北陸銀行が所有する絵画を展示する美術館「ギャラリー・ミレー」において、下記の通り企画展を開催しますのでお知らせします。

記

1. 企画展の概要

開催期間	2025年9月12日（金） 午前10時より 2025年11月30日（日） 午後5時（入館は午後4時30分）まで
内 容	本展は、「青」という色に心を動かされた3人の写真家が、それぞれの視点で切り取った「青の瞬間」を集めた写真展です。 言葉では言い表せない感情や記憶、その奥の青の世界にそっと触れることで、写真や言葉を超えたそれぞれの「青」を感じてみてください。 また、会期中には出展者3人によるギャラリートークを開催して、作品への思いや制作の背景などをお話していただきます。

2. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

まちなか美術館「ギャラリー・ミレー」は、今後も中心市街地の活性化と賑わいの創出に貢献できるよう努力してまいります。

以 上

<お問い合わせ先>

〒930-0044 富山市中央通り2丁目1番20号 ギャラリー・ミレー運営委員会 事務局
TEL/FAX(076)423-7220

なぜ、その青は記憶を静かに揺らすのか

写真が語る、言葉より深い青

「青」は、ときに静けさを、ときに切なさや希望をも映し出します。本展は、「青」という色に心を動かされた3人の写真家が、それぞれの視点で切り取った「青の瞬間」を集めた写真展です。

神秘、静寂、孤高、癒し一言では言い表せない感情や記憶の奥にそっと触れるような青の世界で、写真の奥に広がる言葉を越えた「何か」に、理由ではなく、感覚で感じてみてください。

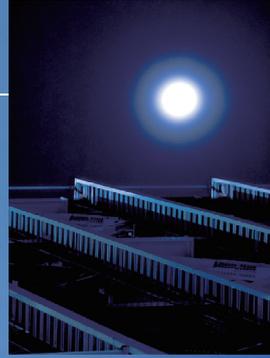
それはきっと、あなたの中に眠っていた「青」との対話が始まるきっかけになるはずです。

イシグロ キョウコ

Kyoko Ishiguro



富山北部高校商業デザイン科卒。転職を機に、業務で撮影の機会を経たことから独学で写真を学び始める。業務での撮影に加え、趣味でポートレートを撮っていたが、より自己表現の道を歩みたいと作品制作を行うようになる。主な被写体は自然だが、社会や日常生活における出来事に着想を得ることが多い。



川村 浩一

Koichi Kawamura



富山県富山市出身、京都で大学時代を過ごす。卒業後、地元企業に就職したが転勤も多く、赴任地での休日の街歩きで使うためデジタルカメラを購入した事がきっかけで写真を始める。定年を機に、仕事中心だった生活から写真活動へと軸足を移す。誰もが見過ごしがちな日常の景色の中から、輝きを放つ一瞬を捉えることを作品制作のテーマとしている。



晴まき 美穂

Miho Haremaki



富山県黒部市出身。写真とデザインを独学で習得し、現在は撮影・デザイン業に加えて外食産業にも携わる。主に料理や商品の撮影を手がけながら、個人制作では海や自然を題材とした心象風景を追求。商業と作家活動の両面で表現を広げている。



2025.9.12 Fri - 11.30 Sun

[ギャラリートーク] 2025年9月14日(日) / 2025年10月18日(土) / 2025年11月24日(月)
※各日とも15:00開始

| 会場 | 美術館 ギャラリー・ミレー

〒930-0044 富山市中央通り2丁目1番20号 TEL.076-423-7220

※専用駐車場はございません。お越しの際は公共交通機関、または近隣の駐車場をご利用ください。

| 開館時間 | 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

| 入館料 | 一般300円、高大生200円(高校生、大学生、短大生、各種学校含む)中学生以下無料
各種手帳をお持ちの障がい者の方とその付添いの方1名までは無料となります。

| 休館日 | 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日を除く)、年末年始、臨時休館あり

MILLET
HOKURIKI
GALERIE MILLET



WEB



Facebook



Instagram

WHY BLUE WHY

写真展

2025.9.12 Fri - 11.30 Sun

美術館 ギャラリー・ミレー 富山市中央通り2丁目1番20号

Photographers: Kyoko Ishiguro, Koichi Kawamura & Miho Haremaki

MILLET
HOKUGIN
GALERIE MILLET